

## 園だより

3学期に入ると、先生からオペレッタ会にする題材の発表があります。どんなお話か絵本などで読んでもらい想像を膨らませ、配役も決まると皆元気いっぱい練習していました。そして待ちに待ったオペレッタ会が始まります。

年少のもも組は『グリーントマトのピーマンマン』でした。“なんでも食べれるとっても元気な子ども達がありました。でも、ピーマンだけは食べることができません。そこへカゼばい菌がやってきて体の中へ入ろうとしました。すると、ピーマンたちがピーマンマンに変身して、カゼばい菌とたたかいます。ピーマンマンのかわいところを見て、ピーマンマンのように好き嫌いせずもりもり野菜を食べるようになっていく。”というお話です。もも組さんにとっては初めてのオペレッタ会でしたが、セリフや歌もよく覚えて頑張ってくれていました。



年中のすみれ組は『ともだちほしいなおおかみくん』でした。“ゲンキ森に住んでいるおおかみくんは本当にやさしいのですが、たぬきさん・こぶたさん・うさぎさん・きつねさんたちからは怖がられています。おおかみくんは友達がほしくてみんなにあいにいきます。初めは怖いと勘違いされていましたが、いろいろやりとりをしているうちにみんなにもおおかみくんのやさしさが伝わっていきます。おおかみくんはみんなとおともだちになれたことがうれしくて大泣きしてしまいます。そしてみんながかけより「一緒に遊ぼう」と声をかけます。するとおおかみくんは元気もりもりになってみんなで元気いっぱい遊びだす。”というお話です。

すみれ組さんはみんなとっても元気いっぱいです。セリフも大きな声でハキハキ言っていました。全員で歌う合唱もとても元気いっぱい上手に歌うことができました。



年長のゆり組は『オズの魔法使い』でした。“主人公はオズの魔法使いではなくアメリカのカンザス州に住む12歳の少女ドロシーです。ある日ドロシーは竜巻により家ごと異国へ飛ばされてしまいます。ドロシーは「カンザスに帰りたい」と願うのですが、「そのためにはオズの魔法使いの所へ行かなくてはならない」と北の魔女に教えてもらいます。そこでドロシーはオズを目指して旅に出ます。その途中で、知恵がほしいかかし、勇気がほしいライオン、心がほしいブリキに出会い一緒にオズに向かいます。オズの魔法使いにやっとうつ会い、自分たちの願いを伝えると「西の悪い魔女を倒せば願いを叶えてあげよう。」と言われます。みんなで力を合わせ魔女を倒しオズの魔法使いに願いを叶えてもらおうとするのですが、なんとオズの魔法使いはただの人間でした。みんなはがっかりするのですが「知恵・勇気・心」は始めからみんなには備わっていることに気づきます。あとはみんなに必要なのは自身だけ。危険に恐れずぶつかっていくことで自信は生まれます。そして南の魔女からはドロシーがはいていた銀のくつは魔法のくつであると教えてもらいました。そしてかかとをトントントンとするともとの家に戻ることができました。”というお話です。



ゆり組さんは幼稚園最後のオペレッタ会ということで、長いセリフも歌もたくさん覚えみんな協力し合って元気いっぱい頑張っていました。合奏では大太鼓・小太鼓・鉄筋・木琴・シンバル・ピアノ・ハーモニカなどいろんな楽器をそれぞれ上手に演奏していました。

最後の合唱『365日の紙飛行機』は心をこめて上手に歌うことができました。その成長ぶりを見て保護者の方々も心から喜んでおられる様子で、本年度も心に残る素晴らしいオペレッタ会になりました。



副園長 戸田 伸枝